

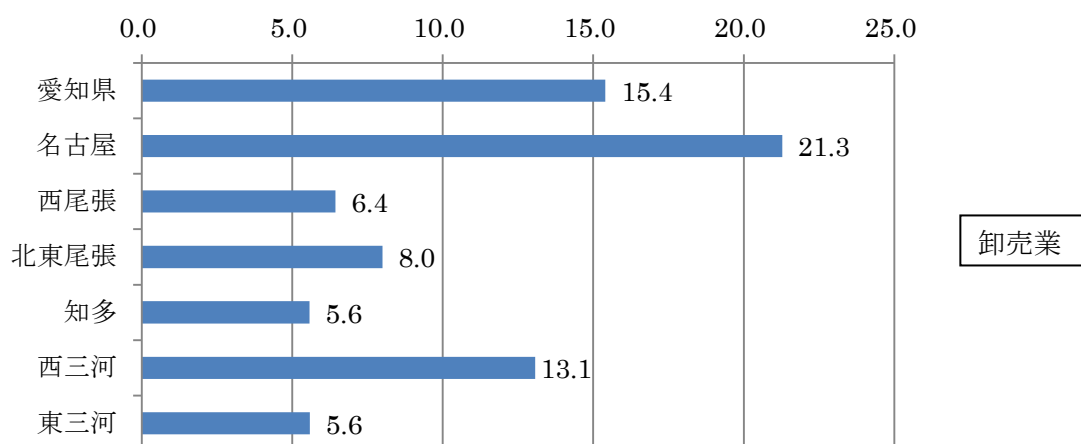
● 広域エリア別の1事業所当たり年間商品販売額（平成23年）

図は、平成23年を調査年とする「平成24年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した卸売業と小売業の広域エリア別1事業所当たり年間商品販売額です。

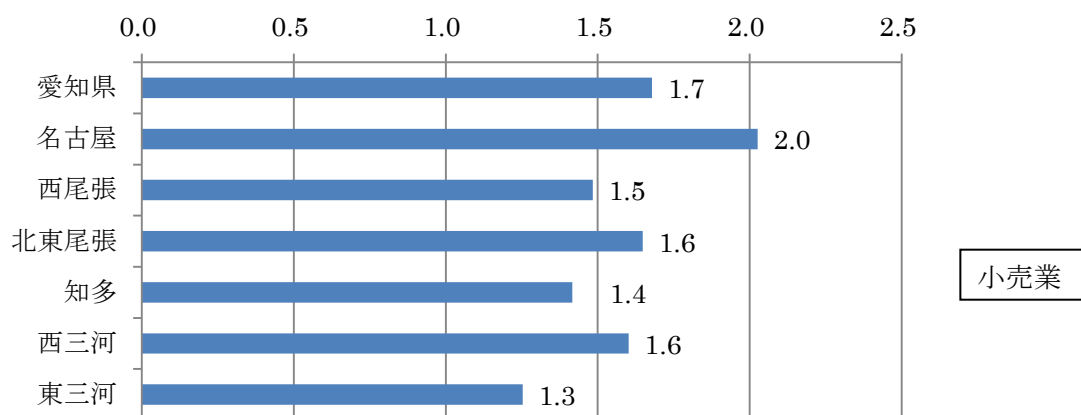
卸売業では、名古屋エリアが21.3億円で最も大きく、次いで西三河エリアの13.1億円、北東尾張エリアの8.0億円、西尾張エリアの6.4億円、知多エリアと東三河エリアの5.6億円と続いています。愛知県全体では15.4億円であり、名古屋エリアの数字が突出しているのが目立っています。

小売業では、名古屋エリアが2.0億円で最も大きく、次いで北東尾張エリアと西三河エリアの1.6億円、西尾張エリアの1.5億円、知多エリアの1.4億円、東三河エリアの1.3億円と続いています。愛知県全体では1.7億円であり、名古屋エリアのみ県全体の数字を上回っています。

（億円）



（億円）



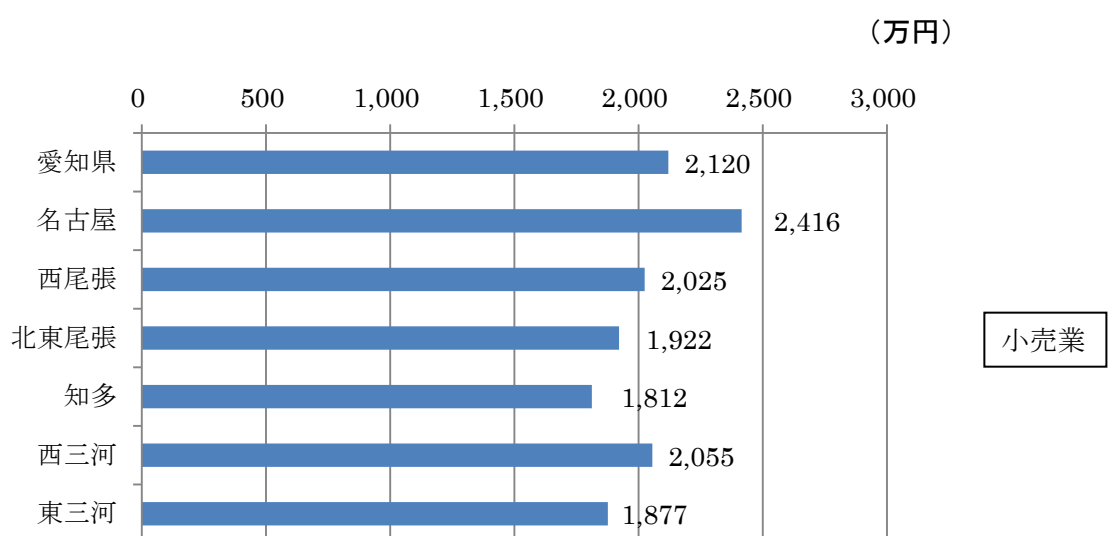
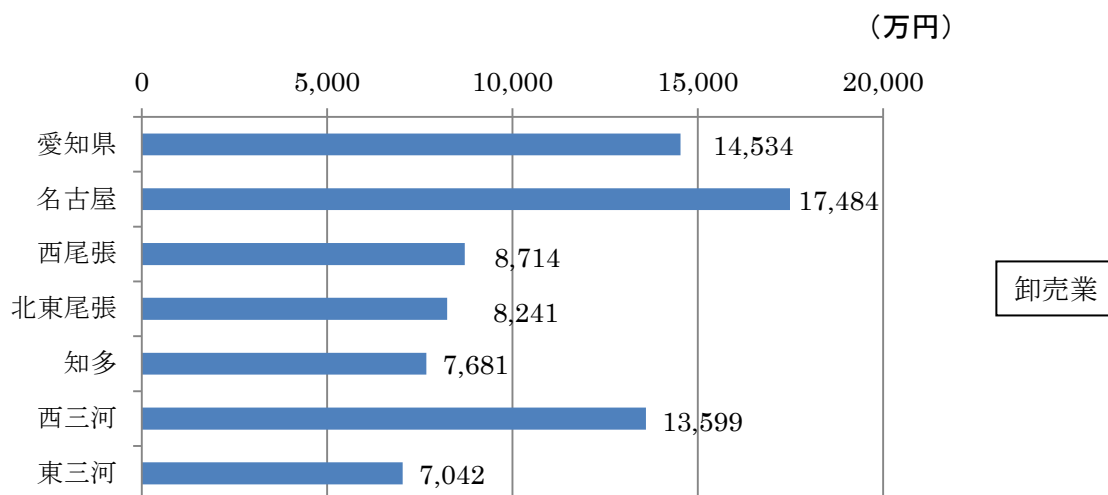
資料：愛知県「平成24年経済センサス活動調査（確報）産業別集計（卸売業、小売業）」より作成

● 広域エリア別の従業者1人当たり年間商品販売額（平成23年）

図は、平成23年を調査年とする「平成24年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した卸売業と小売業の広域エリア別従業者1人当たり年間商品販売額です。

卸売業では、名古屋エリアが1億7484万円で最も大きく、次いで西三河エリアの1億3599万円、西尾張エリアの8714万円、北東尾張エリアの8241万円、知多エリアの7681万円、東三河エリアの7042万円と続いています。愛知県全体では1億4534万円であり、これを超えているのは名古屋エリアのみとなっています。

小売業では、名古屋エリアが2416万円で最も大きく、次いで西三河エリアの2055万円、西尾張エリアの2025万円、北東尾張エリアの1922万円、東三河エリアの1877万円、知多エリアの1812万円と続いています。愛知県全体では2120万円であり、これを超えているのは名古屋エリアのみとなっています。



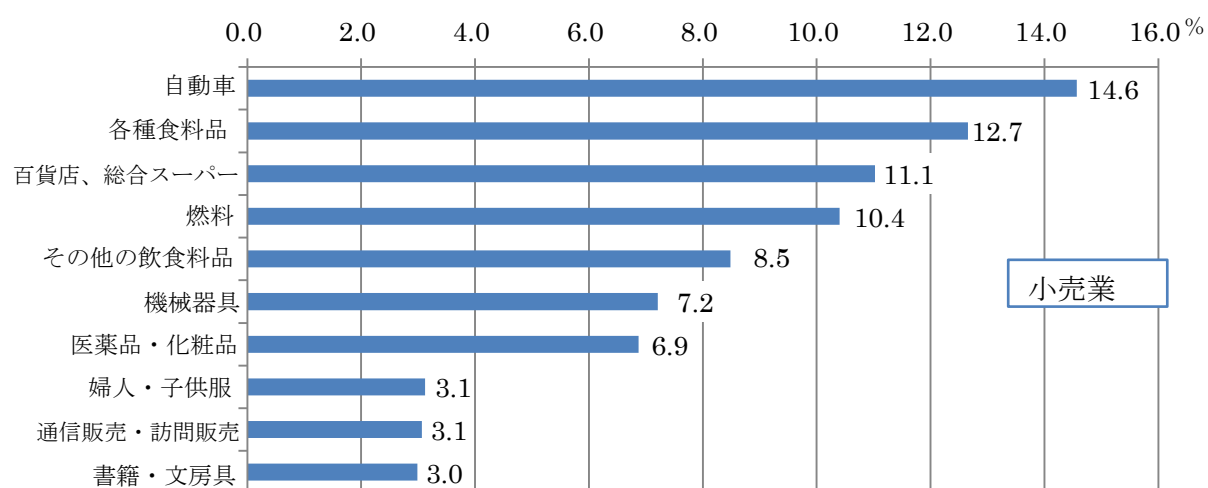
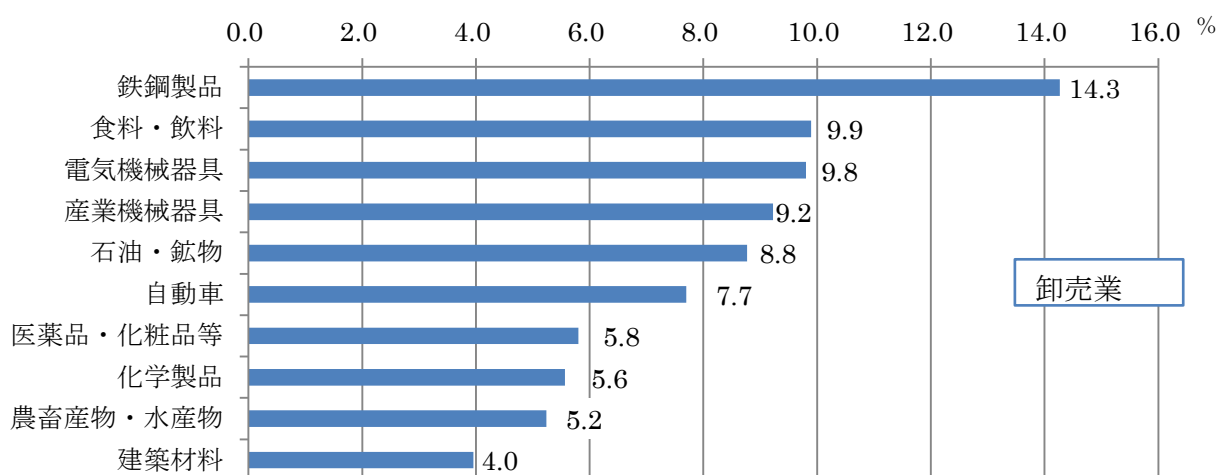
資料：愛知県「平成24年経済センサスー活動調査(確報)産業別集計(卸売業、小売業)」より作成

● 業種別年間商品販売額（平成 23 年）

図は、平成 23 年を調査年とする「平成 24 年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した業種別の年間商品販売額の割合です。（上位 10 業種を表示）

それによると、平成 23 年の県内における業種別年間商品販売額の割合は、卸売業では、鉄鋼製品が 14.3%で最も大きく、次いで食料・飲料の 9.9%、電気機械器具の 9.8%と続いています。

また、小売業では、自動車 が 14.6%で最も大きく、次いで各種食料品の 12.7%、百貨店、総合スーパーの 11.1%と続いています。



資料：愛知県「平成24年経済センサス活動調査(確報)産業別集計(卸売業、小売業)」より作成

※「他に分類されない卸売業」及び「他に分類されない小売業」は上位10業種から除いている。

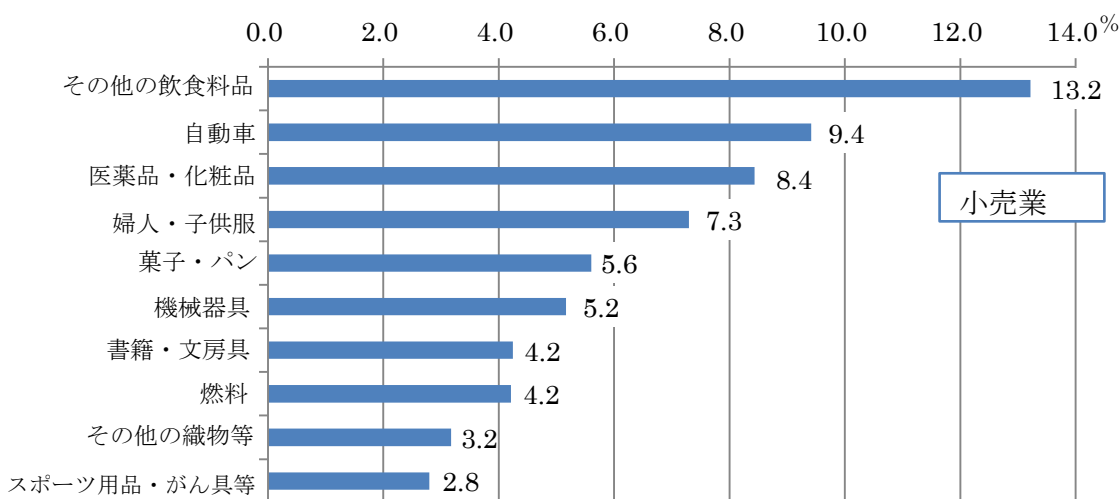
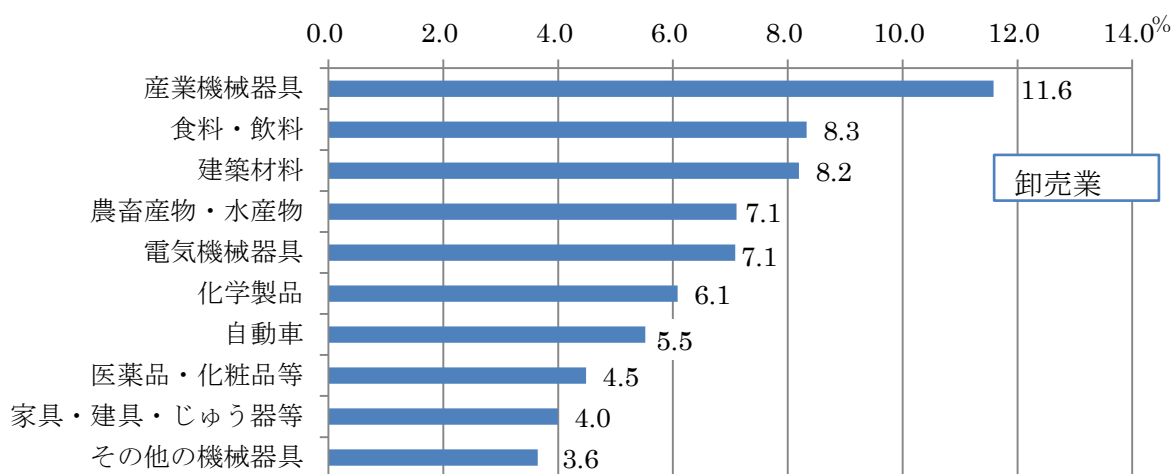
※「小売業」のうち、「機械器具」は自動車、自転車を除く。

● 業種別事業所数（平成 23 年）

図は、平成 23 年を調査年とする「平成 24 年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した業種別の事業所数の割合です。（上位 10 業種を表示）

それによると、平成 23 年の県内における業種別事業所数の割合は、卸売業では、産業機械器具が 11.6%で最も大きく、次いで食料・飲料の 8.3%、建築材料の 8.2%と続いています。

また、小売業では、その他の飲食料品が 13.2%で最も大きく、次いで自動車の 9.4%、医薬品・化粧品の 8.4%と続いています。



資料:愛知県「平成24年経済センサスー活動調査(確報)産業別集計(卸売業、小売業)」より作成

※ 「その他の飲食料品」は、コンビニエンスストアを含む。

※ 「他に分類されない卸売業」及び「他に分類されない小売業」は上位10業種から除いている。

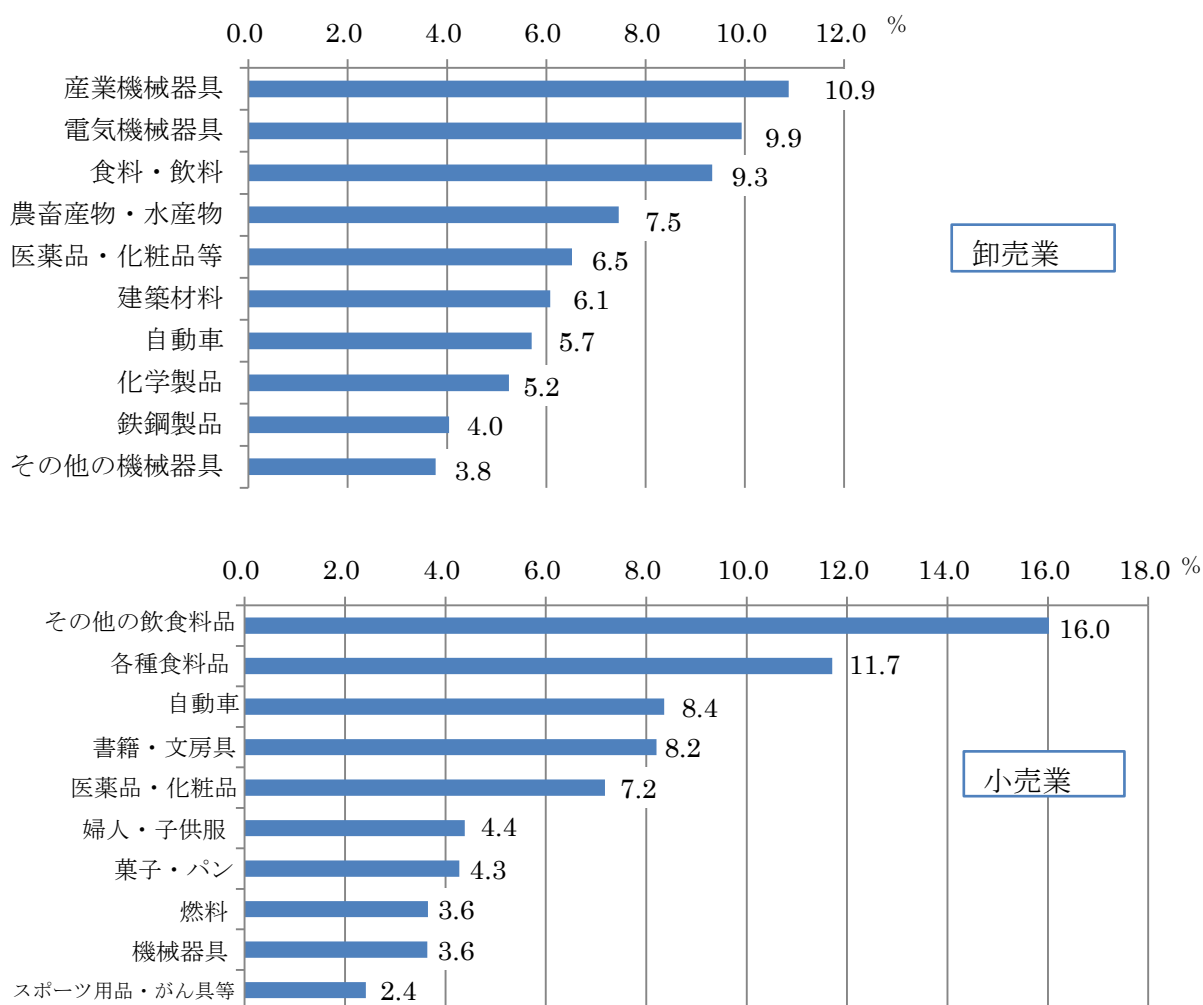
※ 「小売業」のうち、「機械器具」は自動車、自転車を除く。

● 業種別従業者数（平成 23 年）

図は、平成 23 年を調査年とする「平成 24 年経済センサス活動調査」の集計結果を用いて作成した業種別の従業者数の割合です。（上位 10 業種を表示）

それによると、平成 23 年の県内における業種別従業者数の割合は、卸売業では、産業機械器具が 10.9%で最も大きく、次いで電気機械器具の 9.9%、食料・飲料の 9.3%と続いています。

また、小売業では、その他の飲食料品が 16.0%で最も大きく、次いで各種食料品の 11.7%、自動車の 8.4%と続いています。



資料：愛知県「平成24年経済センサスー活動調査（確報）産業別集計（卸売業、小売業）」より作成

※ 「その他の飲食料品」は、コンビニエンスストアを含む。

※ 「他に分類されない卸売業」及び「他に分類されない小売業」は上位10業種から除いている。

※ 「小売業」のうち、「機械器具」は自動車、自転車を除く。